

令和5年度第2回運営委員会による
山梨県富士山科学研究所第2期中期計画の評価結果について

山梨県富士山科学研究所では、平成31年度から令和5年度を計画期間とする、第2期中期計画を策定し、計画に沿って活動を展開してまいりました。

令和6年3月6日（水）に外部委員による令和5年度第2回山梨県富士山科学研究所運営委員会を開催し、第2期中期計画の計画目標の達成状況の評価をまとめました。結果の概要は以下の通りです。

1. 運営委員会（別紙1）運営委員長 早川 正幸

2. 研究所部門別の中期計画達成状況

第2期中期計画に示された各項目の評価は下の4段階評価とした。

S：計画を想定以上に達成した

A：計画した内容を達成した

B：計画した内容の達成に一步及ばないと判断した

C：計画した内容の達成には不十分と判断した

各部門の評価は下の通り

・研究（1）富士山の自然特性に関する研究

S：計画を想定以上に達成した

・研究（2）人と自然の共生と富士山の適正利用

A：計画した内容を達成した

・研究（3）富士山の火山活動と防災対策に関する研究

S：計画を想定以上に達成した

・研究（4）地域環境の課題解決に資する研究

・研究（5）富士山に関する継続的な観測・研究情報の集積及び整備

A：計画した内容を達成した

・教育事業

A：計画した内容を達成した

・情報発信・交流事業

A：計画した内容を達成した

・業務運営

A：計画した内容を達成した

3. 研究所全体としての中期計画達成状況

富士山科学研究所は第2期中期計画に記載のすべての部門で、計画した内容を達成しており、一部では計画以上の成果を達成したものと評価する。

以上

山梨県富士山科学研究所運営委員会委員名簿

(敬称略)

(任期:令和4年7月22日～令和6年7月21日)

氏名	所属団体・役職等	備考
早川 正幸	山梨県立大学理事長・学長	委員長
住 明 正	東京大学名誉教授 東京大学未来ビジョン研究センター(IF1) 特任教授	委員長代理
高橋 啓介	環境省自然環境局 生物多様性センター センター長	
小林 登	富士吉田市経済観光部長	
窪田 新治	山梨県市町村教育委員会連合会長 (山梨市教育委員会委員)	
別宮 有紀子	都留文科大学教養学部 学校教育学科・教授	
上田 真司	山梨県公立小中学校校長会長 (市川中学校長)	
吉田 正人	筑波大学大学院 世界遺産学学位プログラム・自然保護寄附講座 教授	